



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成21年3月9日

環境大臣 齊藤 鉄夫 殿

住友ゴム工業株式会社
代表取締役社長

三野 哲治

1. 地球温暖化の防止に向けた取り組みを積極的に推進します。

- 以下の取り組みによりCO₂の排出量原単位を2010年度に1990年度比58%以下にします。
 - 重油から天然ガスへの燃料転換を進めます。
 - 発電の際に生じる排熱を有効利用するコージェネレーションを積極的に導入します。
 - 全員参加の省エネルギー活動を活発に推進します。
- チームマイナス6%の施策や当社グループで推進する環境家計簿を積極的に促進し、家庭部門のCO₂削減に積極的に貢献します。
- 本社はもとより、全国の営業拠点を含めた非生産拠点の省エネルギーを推進します。
- 特定荷主として、関連会社であるSRIロジスティクス(株)と連携し、物流にかかるCO₂の総排出量を2010年度に2006年度比92%以下にします。
- 地域住民の方との周辺地域への植栽や、より多くの地域への苗木の提供を行うことなどで毎年2万本以上の植栽を進めます。

2. 循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

- 2008年3月国内・海外の関係会社を含む全工場において、廃棄物の埋め立て量を産業廃棄物発生量の1%未満としました。2010年末には、1%未満であったこの埋め立て量を更にゼロとすることを目標とします。
- リデュース・リユース・リサイクルを進め廃棄物発生量の削減を図り2010年度に2000年度比 廃棄物発生量原単位を20%削減を目標とします。
- 省資源については、軽量化設計でタイヤに使用する材料を減らします。又、バス・トラック・ライトトラック用などのタイヤは、耐摩耗性の向上による長寿命化でリデュースを図るとともに、リユース推進のためにタイヤ構造の長寿命化設計を進めます。

3. 独自の先進性を発揮して、環境配慮商品の実用化を推進します。

- 2009年から上市する国内市販用タイヤはすべて環境配慮の自社基準を満たしたものとします。これにより、2015年には国内市販用の乗用車、バス、トラック、ライトトラック用タイヤはすべて環境配慮自社基準を満たしたものにすることを目標にします。
- 原材料、燃費の両側面から環境への負荷を最小限に抑える究極のエコタイヤとなります100%石油外天然資源タイヤを2013年上市を目標に研究を進めます。
- CO₂削減に大きく貢献できるタイヤとして位置付けている50%転がり抵抗低減タイヤを2015年上市を目標に開発を進めます。

住友ゴム工業株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果についてCSR報告書などで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

 住友ゴム工業株式会社